

<sup>18</sup>F-FDG PET/CT検査について、下記の事項をご理解ください。

### 1. <sup>18</sup>F-FDG PET/CT検査について

この検査は、放射性物質をつけたブドウ糖（<sup>18</sup>F-FDG）を注射してPET/CT装置で撮影を行い、体内の糖代謝の状態をみることで炎症や悪性腫瘍などの疾患を診断する検査です。

### 2. 検査の注意事項

- ① 検査前6時間は絶食です。糖分を含む飲食物は中止し、水は適宜飲んでください。（心サルコイドーシスの診断の場合は、絶食時間が異なり18時間絶食です。絶食前最後の食事は栄養指導を受けた食事内容としてください。）
- ② 絶食時は、糖尿病治療薬の服用、インスリン注射は行わないでください。糖分を含む点滴は中止してください。医師より処方されたその他の薬は、普段通り服用しても構いません。
- ③ 検査前日と当日の運動や肉体労働は控えてください。
- ④ 妊娠中や妊娠の可能性のある方は、原則として検査はできませんが、担当者にご相談ください。
- ⑤ 検査終了当日は、妊産婦や乳幼児との密接な接触は控えてください。
- ⑥ 授乳中の方は、検査後一度搾乳をして廃棄し、その後普段通り授乳しても構いません。

### 3. 検査実施手順

- ① 絶食 検査前6時間は絶食です。（心サルコイドーシスの場合は検査前18時間絶食です。）
- ② 問診 身長・体重測定、血圧・血糖測定、問診を行います。
- ③ 注射 検査薬剤（<sup>18</sup>F-FDG）を静脈注射します。
- ④ 安静 検査薬剤が体内に行きわたるまで、約1時間安静にします。
- ⑤ 撮影 排尿後、約30分間全身の撮影をします。
- ⑥ 休憩 体内の薬剤の量が減少するまで約30分間休憩をとります。  
※休憩後、必要に応じて追加撮影をします。検査終了まで2時間半～3時間かかります。

### 4. 検査の安全性について

この検査薬剤には、重篤な副作用の報告はありません。薬剤とPET/CT撮影による放射線被ばくがわずかにありますが、胃のX線検査や通常のCT検査等と同程度であり健康に悪影響はありません。

### 5. 検査の限界について

この検査は病変の発見に非常に優れた検査ですが、1cm以下の小さな病変や部位によっては発見が困難な場合があります。

### 6. 検査データの医学的活用について

この検査により得られたデータは、個人が特定されないよう十分配慮した上で、今後の医学発展のため利用させていただくことがあります。そのため金沢大学附属病院と当センターとの間で診療情報を共有させていただきます。

### 7. 金沢大学附属病院との診療連携について

当センターは金沢大学附属病院とPET/CT検査について診療連携を行っています。金沢大学附属病院を受診された場合には、当センターの検査結果を金沢大学附属病院でも参照できるようにしております。金沢大学附属病院との診療連携を希望されない場合は、右の□に×をお付けください。 □

### 8. 検査のキャンセルについて

都合により検査をキャンセルされる方は、検査前日15時までにご連絡ください（0120-960-255）。検査薬剤は使用期限の非常に短い特殊な薬剤です。無断キャンセルや検査時間に遅れるなど薬剤が使用できなくなった場合は、所定のキャンセル料をいただくことがあります。 フリーダイヤル（無料）

### 9. 緊急電話連絡について

不意の装置不調などのため、時間通りに検査ができない場合があります。その際ご連絡し、後日もしくは時間を変更して検査させていただきますのでご了承ください。

担当説明者

### 医療法人社団 金沢先進医学センター長 殿

私は、上記の説明を理解した上で、<sup>18</sup>F-FDG PET/CT検査を受けることに同意します。

令和 年 月 日 氏名

または 代理人氏名

（続柄）

住所

連絡先電話番号



医療法人社団

金沢先進医学センター

※連絡先電話番号は必ずご本人に連絡のとれる電話番号をご記入ください。